

システム開発の基本と プロジェクトマネジメントのすすめ方

～システム開発における基礎知識とリスク対処法を解説～

□日 時：2020年11月5日(木) 10:00～16:00 (5H)

□講 師： 弁護士法人 第一法律事務所
弁護士・公認システム監査人
福本 洋一 氏

□会 場： 本会関西本部内 専用教室 (下記案内図参照)
大阪市西区鞆本町1-8-4 大阪科学技術センタービル内

□主 催： 一般社団法人 日本経営協会

□対 象： 民間企業・地方自治体・学校の総務・
法務・情報システムご担当者
(ユーザー側)

□セミナーのねらい

従来のシステム開発は、いわゆるウォーターフォール型開発(開発委託契約の段階で仕様を確定させる開発)を前提とした契約形態を取られていましたが、実際には、委託者側に技術的な判断ができる人材がいなくてもあり、契約時には厳密に仕様を確定させることは困難であるため、契約書を作成していても、開発着手後の仕様変更による費用負担や開発中止の原因を巡るユーザとベンダー間での紛争を避けることは困難でした。

そこで、最近のシステム開発では、開発を進めながら仕様を確定させていくアジャイル型開発で進めるのが通例となっています。

このようなアジャイル型開発においては、従前型の開発とはシステム開発を巡るリスクの内容が全く異なるため、従前とは異なるリスク分配に関する取り決めが必要であり、ユーザ側においても開発のプロセスにおける役割と責任を果たすために、開発プロジェクトにおける社内体制を構築し、担当部門に適切な権限と予算の付与を行うことが求められます。

本セミナーでは、最近のシステム開発の基礎知識や新たなリスクの解説と対処法、開発プロジェクトを進める上での全体のマネジメントなどに関し、実例を踏まえて分かりやすく解説いたします。

講師紹介

弁護士法人 第一法律事務所
弁護士・公認システム監査人

福本 洋一 氏

2003年弁護士登録(大阪弁護士会)、2014年弁護士法人第一法律事務所パートナー弁護士に就任。システム監査技術者、公認システム監査人。AI、IoTやビッグデータ等を活用した新たなデータビジネスや個人情報や営業秘密等の情報管理に関するIT技術及び法務に精通し、日本経済新聞社の2015年度「企業が選ぶ弁護士ランキング・情報管理分野」にも選出されている。

■ 申込要領 ■

参加料 (1名につき)：

	参加料	消費税	合計
本会会員	30,000円	3,000円	33,000円
一般	35,000円	3,500円	38,500円

申込方法：

- 裏面の参加申込書に必要事項を記入のうえ、FAX等にてお申込みください。
追って、請求書と参加券をご請求担当者までお送りいたします。
参加料は開催の3営業日前までに必ずお振込みください。
(経理処理の都合等にて遅れる場合にはご一報ください。)
- 領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
 - 開催3日前までに参加券が届かない場合は、恐れ入りますがご連絡ください。
 - 振込み手数料は貴社(団体)にてご負担ください。

WEBお申込みのご案内

本会ホームページからも、セミナーご参加のお申込みが可能です。お申込みが完了しましたら、ご確認メールをお送りいたします。

WEB お申込み の流れ

- 1 一般社団法人日本経営協会 ホームページ <https://www.noma.or.jp>
- 2 「セミナー/講座」を選択
- 3 「セミナーを探す」よりカテゴリーを選択
- 4 ご希望セミナーを検索
- 5 ご希望セミナー詳細の最後の「WEB申込」からお申込み
- 6 お申込みをいただきますと、確認メールが届きます
- 7 お申込み完了

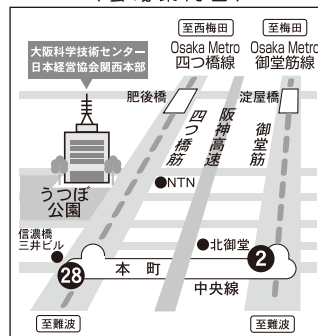
キャンセルについて：

開催日の3営業日前からは受講料(税込)の30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までにご連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

その他：

- 教材は当日お渡しいたします。
- ご参加者が定員を超えた場合や(講師と)同業の方からのお申込みはお断りする場合があります。
- 録音・録画・写真撮影はお断りいたします。
- 受講中はパソコンのご使用をお控え願います。
- 参加者が少人数の場合、中止もしくは延期させていただく場合がございます。中止の場合は、ご入金いただいた参加料を全額返金いたします。

〈会場案内図〉



- 大阪方面よりお越しの場合
 - ▶ 四つ橋線「本町」駅下車(28号出口)北へ徒歩5分
- 新大阪方面よりお越しの場合
 - ▶ 御堂筋線「本町」駅下車(2号出口)西へ徒歩8分
- なんば方面よりお越しの場合
 - ▶ 四つ橋線「本町」駅下車(28号出口)北へ徒歩5分
 - ▶ 御堂筋線「本町」駅下車(2号出口)西へ徒歩8分

お申込・お問合せ先： 一般社団法人 日本経営協会 関西本部 企画研修グループ 担当：原
〒550-0004 大阪市西区鞆本町1-8-4 大阪科学技術センタービル5階 URL <https://www.noma.or.jp/kansai/>
TEL 06(6443)6962(ダイヤルイン) FAX 06(6441)4319 E-mail ksosaka@noma.or.jp

□プログラム□

1. システム開発契約の基礎

- (1) システム開発の特殊性
- (2) システム開発の開発形態
- (3) ポストシステム開発の視点

2. ウォータフォール型とアジャイル型におけるリスクの相違点と対処法

- (1) ウォータフォール型開発の流れとアジャイル型開発の流れの相違点
- (2) ウォータフォール型開発(請負契約)におけるリスクと対処法
- (3) アジャイル型開発(業務委託契約)におけるリスクと対処法

3. 開発プロジェクトにおける経営陣や事業部門との役割分担 (ITガバナンス)

- (1) ITガバナンス(EDMモデル)と6つの原則
- (2) システム開発以前の情報システム戦略の方針
- (3) ITガバナンスの視点から見たシステム開発に対する統制

4. システム開発における社内体制の整備のポイント

- (1) システム開発における委託者側の体制
- (2) システム開発が遅延・開発中止になる委託者側の原因
- (3) システム開発前に求められる社内体制の整備のポイント

5. 裁判例を踏まえた契約交渉のポイント (交渉ポイントとなる契約条項例)

- (1) スルガ銀行・日本IBM事件／旭川医大・NTT東日本事件
- (2) 裁判例からみた委託者とベンダーの責任分岐点
- (3) 開発委託契約の交渉のポイント

6. ビッグデータの利用権限と知的財産権との相違点

- (1) ビッグデータは誰のもの
- (2) 不正競争防止法における限定提供データと営業秘密の違い
- (3) 自社のビッグデータを守るには

7. 応用としてのAI開発 (学習済みモデルの開発)への対応

- (1) AI開発とは
- (2) AI開発と通常のシステム開発との相違点とAI開発特有のリスク
- (3) AI開発委託契約における契約交渉のポイント

8. システム開発の成否は開発前に決まっている

■講師より

システム開発は、建築等の請負のような目に見えるものを製作するわけではないため、ユーザ側において具体的な仕様を理解できる人材がおらず、ベンダーに依存する一方で、開発が進んでから、ユーザが希望していたものができないことが判明したり、完成したものとの間に乖離が生じて紛争になることが多いところです。このような問題は、実際には仕様があいまいなのに確定したような前提にして、開発実態に合っていない開発委託契約が締結され、それに基づいて開発が進められることにあります。

このような不幸なシステム開発を少しでも減らせるように、ユーザ側企業には適切なシステム開発の知識とリスク認識を持っていただきたいと思います。

*出張研修も承っております。裏面のお申込先までお問い合わせ下さい。

(3.5)

FAX (06)6441-4319 一般社団法人 日本経営協会・関西本部企画研修グループ (原) 宛

NOMA 「システム開発の基本とプロジェクトマネジメントのすすめ方」参加申込書 (6042)		2020.11/5 33,000/38,500
(フリガナ) 会社名： 団体名	TEL () - FAX () -	ご派遣責任者：
(フリガナ) (〒) 所在地：		所属・役職：
参加者氏名	所属・役職名	●お支払い方法 <input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> その他 (通信欄)
(フリガナ)		
(フリガナ)		
(フリガナ)		ご請求先 (ご担当)
※Eメールで本会セミナー情報をご案内いたしますので、アドレスをご記入ください。 []		(ご所属)

参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。
 ①参加券や請求書の発送などの事務処理 ②セミナー・イベントなど本会事業のご案内 なお、②がご不要の場合は□にチェックしてください。—— □ 不要